

広報

心の通う福祉のまちづくり



社会福祉協議会だより

さつま町のふくし

No.56 社会福祉法人 さつま町社会福祉協議会 令和3年1月発行

発行・編集 さつま町宮之城屋地2117-1(宮之城ひまわり館内) TEL 0996-52-1123 FAX 0996-52-1148



↑ こどもイキキ地域つながりプロジェクト事業

↓ 寄り合い処「幸」(紫尾)



目次

- 表紙……・こどもイキキ地域つながりプロジェクト事業, 寄り合い処「幸」
- 2P……・年頭のごあいさつ、鹿児島県地域福祉推進大会表彰者の紹介, 寄り合い処「幸」開所
- 3P……・赤い羽根共同募金運動のお礼, こどもイキキ地域つながりプロジェクト事業
- 4P……・ご近所福祉だより, 高齢者ふれあい・いきいきサロン, ボランティア活動保険広告
- 5P……・日赤奉仕団研修, ボランティア養成講座, 福祉用具貸与事業所の紹介
- 6P……・シニア人材育成活用事業, シルバー 110番紹介
- 7P……・香典返し, 篤志寄付, 備品貸し出しの紹介
- 8P……・緊急小口資金・総合支援資金の紹介, 社協ホームページ紹介, 各種相談の紹介, 編集後記

年頭のごあいさつ



二階堂 清一 会長

新年あけまして、おめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、長びく新型コロナウイルス禍の中で社会福祉協議会の円滑な運営と各種の事務事業の推進に御協力を賜り厚く感謝申し上げます。

ご承知のとおり、私たちを取り巻く生活環境は急速に進む少子高齢化の進展や核家族化により、一人暮らしの高齢者世帯が増加するなど大きく変化し、地域の高齢化率も年々上昇しております。このような状況の中で、社会福祉協議会は地域福祉をよりよく実践していくために、町と一体となって地域福祉計画・地域福

祉活動計画を策定しました。今後この計画を基本に、「地域支え合いマップづくり」や「さつまくらし・しごとサポートセンター」「地域包括支援センター」など多くの事務事業を展開して参ります。

また近年、高齢化に伴う認知症の方への支援のあり方が大きな課題となっております。今年は町と連携を図り、「権利擁護センター」の設立に向けて取り組んで参ります。

社会福祉協議会が制度化されて今年で七十周年の節目を迎えます。これまで社協は、時代とともに変化していく福祉の課題に積極的に取り組んで参りました。これからも時代の要請を見極めながら町民の皆様要望に応えられるよう、さつま町はもとより町内の社会福祉法人、福祉関係団体と連携し職員一丸となって取り組んで参ります。

むすびに令和3年が、皆様にとつて健やかで災害のない一年になりますように心から御祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

【鹿児島県地域福祉推進大会表彰者紹介】

11月20日、川商ホール（鹿児島市民文化ホール）において、鹿児島県地域福祉推進大会が開催されました。今年は、コロナウイルス禍の中、人数制限を設けての実施となりました。大会で、次の個人・団体・法人が、表彰を受けられましたのでご紹介致します。受賞者の皆様、おめでとうございます。（敬称略）

〈鹿児島県知事表彰〉

- ・ 黒木 照代
 - ・ 大園 良正
 - ・ 原田 ちず子
 - ・ 上大迫 みどり
- （民生委員・児童委員）

〈鹿児島県社会福祉協議会会長表彰〉

- ・ 平 康子
 - （訪問介護員）
 - ・ つきみ会
 - （ボランティア団体）
- 〈鹿児島県共同募金会会長表彰〉
- ・ 日本特殊陶業
 - 鹿児島島宮之城工場
 - ・ 宮之城ふくし園

【寄り合い処「幸」開所】

令和2年11月1日、紫尾の幸澤商店の店舗跡を利用し、寄り合い処「幸」を開所されました。

今回の開所に向けて、地域住民の方々が協力し合って、片付けや掃除などの環境整備をされました。寄り合い処「幸」は、本や装飾品が場の雰囲気を引き立て、とても趣深いです。

地域の「よりどころ」として、今後の活動がとて楽しみみです。近くを通られた際には、一度のぞいて見られてはいかがでしょうか。



(3)

さつま町内では4百46万5千4百54円のご協力を賜りました。募金くださったいました浄財は、鹿児島県共同募金会へ一旦送金され、さつま町共同募金委員会を通じ、さつま町の地域福祉活動に役立てられます。

今後とも、赤い羽根共同募金運動に、ご理解とご協力をお願いいたします。

ありがとうございました。

10月1日から12月末まで、赤い羽根共同募金運動にご協力をくくださりありがとうございました。各家庭や、さつま町内の職域、学校にお声かけし、また、街頭募金も実施しました。沢山のご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

【赤い羽根共同募金運動のお礼】



※その他にも募金にご協力くださいました方々の写真を、さつま町社協ホームページに掲載させていただいております。

【こどもイキイキ地域つながりプロジェクト事業】

12月26日（土）冬の体験活動を実施し、さつま町内の23名の児童が参加しました。世代間交流の場になればと企画し、薩摩中央高等学校・書道同好会による書道パフォーマンスと、子ども達の書道体験を行いました。初めて書道に触れる児童もあり、筆で書くことの楽しさや冬休みの課題に取り組む姿が見られました。コロナ禍ではありますが、今後も子どもの笑顔が見られるようなイベントを企画していきたいと思いますので、地域の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ご近所福祉 だより



本格的な寒さが到来し、皆さんも感染症の予防を例年以上に気を付けながら生活されていることと思います。国全体での自粛ムードで外出を控える傾向にありますが、日頃の安否確認はできていますか？

隣近所でのゆるやかな安否確認方法を、支え合いマップを使ってチェックしています。「いつも同じ路地で日向ぼっこをしているのを見かける」・「ゴミ捨ての時に会ったら声をかけている」・「帰宅時に明かりがついているの確認する」、などといった、直接訪問しなくてもできる安否確認方法があります。

さつま町社会福祉協議会では支え合いマップづくりの支援を行っています。ご相談等お気軽にご連絡ください。

前回に引き続き、コロナ禍ではありますが感染対策をしながら活動されていたサロンにお邪魔しましたのでご紹介します。

感染症への対策はもちろん大切なことですが、運動や人とのつながりの機会が減ることで、筋力の低下を招き、要介護状態となるリスクが高くなった状態(=フレイル)に陥りやすくなってしまいます。健康長寿に大切な3つの柱『栄養』『運動』『社会参加』を意識して、サロン活動を行ってください。

高齢者ふれあい・いきいきサロン



大薄上公民会
『みんなで語ろう会』

距離を取りつつ
ビンゴゲームとお茶飲み



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和2年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額・年間保険料(1名あたり)

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	
	外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		×	○
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料			350円	500円

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

(傷害保険)

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

損害ジャパン・日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に高号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJNK19-12918 2020.2.10作成)



【日赤奉仕団研修】

11月9日に令和2年度日赤奉仕団研修を開催いたしました。今年度はPTAからも参加をいただき、ウィズコロナの炊き出し訓練やAEDを用いた救急法講習を行いました。

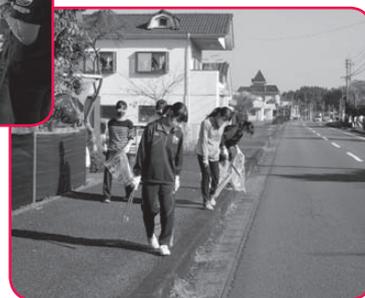
災害は待つてはくれないので、日頃から備えておきたいものです。



【ボランティア養成講座】

今年度も、11月20日に薩摩中央高等学校生を中心にボランティア養成講座を実施しました。8名の生徒・2名の先生方とハイゼックスを使った炊き出しと、町内のゴミ拾いやゴミの分別などのボランティア活動を行いました。災害時におけるハイゼックスの炊き出しの説明を行い、実際生徒の方に体験して頂きました。また、今年はコロナ禍の為3密をさけ外に出て、ゴミ拾いを行いました。

今後も、福祉について関心や興味を持って活動してほしいと思います。



介護のご相談は南州メディカルへ

私たちは「スピード対応とまごころサービス」をモットーに高齢者とそのご家族の心に届く最適な商品・サービスを提供し、ゆとりと笑顔のある暮らしの実現をお手伝いいたします。

福祉用具レンタル



介護保険制度を利用した福祉用具のレンタル

介護用品の販売



種類豊富に取り揃え！選定のアドバイスもします。

住宅改修・リフォーム



手すり1本から大規模なリフォームまで幅広く対応。

商品の紹介

セニアカー（四輪）ET4D7

大型バスケットと音声案内装備のセニアカー

重量／100kg
耐荷量／100kg
走行距離／33km
速度範囲／2～6km/h



お問い合わせ先

南州メディカル

TEL:0996-29-5562

●住所：薩摩川内市中郷2-6-16

●公式HP：<http://nansyu-m.co.jp>

南州メディカル

検索

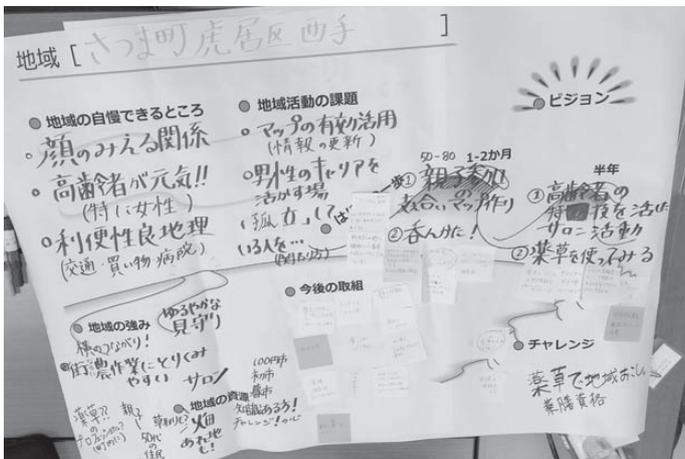


【シニア人材育成活用事業】

10月19日から21日にかけて、薩摩川内市総合福祉会館において、かごしまシニア人材育成活用事業における人材育成講座及び人材育成活用実践研修が開催され、虎居区の西手公民会の役員の方々と、さつま町役場、さつま町社協職員で参加してきました。

研修会では、地域活動の話し合いの進め方等について説明があり、実際に西手公民会をモデルとして、地域で今後取り組めそうなことを話し合いました。

研修会に住民の方々と一緒に参加する機会は珍しく、とても勉強となる有意義な研修でした。



**鹿児島シルバー
110番のご案内**



高齢者やその家族の方々

の心配ごと、悩みごとの解決をお手伝いします。
お気軽にご相談ください。(相談は無料です)

電話での相談は

面接での相談は

☎ **099-250-0110**

鹿児島市鴨池新町1-7
鹿児島県社会福祉センター5階

フリーダイヤル **0120-165270**

**鹿児島県社会福祉協議会
鹿児島シルバー110番** へどうぞ

時間外は留守番電話で受け付けています。お気軽にどうぞ
(ただし、土・日曜・祝日と年末年始12/29～1/3は休みます)

相談種別	相談内容	相談日	相談時間	相談員
生活相談	高齢者の生活・福祉・生きがいづくり全般	月曜日～金曜日	9:00～17:00	福祉相談員
健康相談	高齢者の健康管理、介護のしかた、介護用品のことなど	火・金曜日	13:00～16:00	保健師
医療相談	病気治療上の悩み、病気予防、リハビリ、病院のことなど	毎月 第1・3水曜日	14:00～16:00	医師
年金相談	国民年金・厚生年金・船員保険の受給資格、申請手続き、年金額など	毎月 第3水曜日	9:00～12:00	社会保険労務士
法律相談 (予約してください)	財産、権利、離婚、扶養、相続、借地、借家、金銭貸借のもめごとなど	月・木曜日	14:00～16:00	弁護士
税金相談	相続税、贈与税、所得税、住民税など税に関すること	毎月 第3木曜日	9:00～12:00	税理士
住宅相談	高齢者に安全で住みよい住宅の増改築、福祉機器の利用など	毎月 第2・4木曜日	9:00～12:00	建築士

(7)

皆様の善意に感謝申し上げます

社会福祉協議会では、皆様方よりいただきました寄付を、地域福祉の向上のために活用させていただいております。

(令和2年10月1日)

令和2年12月31日受付分)

香典返し寄付

68件 66万5千円

寄付者名(故人名)《敬称略》

(町内は大字、町外は住所地)

岩下恵美子(永野) 故 岩下 雅人
東 久代(佐志) 故 木之下マサ子
池田 クニ(佐志) 故 池田 信義
平野トヨ子(永野) 故 平野耕二郎
池之野一也(佐志) 故 池之野敦夫
上間 幸治(虎居) 故 上間サツエ
岸良 好道(湯田) 故 岸良 涼
上原 政義(宮城屋地) 故 上原シツ子
山下 巧(中津川) 故 山下 ミエ
赤崎ムツ子(求名) 故 赤崎 實光
酒匂 政弘(湯田) 故 酒匂 テル
小丸 芳春(鶴田) 故 小丸ヨシ子
今西 綱雄(虎居) 故 今西 成
高下 慶雄(湯田) 故 高下 淑子

平川 紗喜(泊野) 故 平川 正秀
西別府憲次(柏原) 故 西別府サキ
永福 尚(久富木) 故 永福 有
和泉 茂(平川) 故 和泉 ケサ
宮之脇 武(紫尾) 故 宮之脇満幸
深水 文好(求名) 故 深水 鈴江
永野 政憲(大阪市) 故 永野フサ子
上別府克行(永野) 故 上別府夕エ子
田中恵美子(求名) 故 田中 晃
森田 俊憲(柏原) 故 村山登志男
折小野善広(二渡) 故 折小野フクエ
大園 勝(紫尾) 故 大園 辰子
東條 好廣(終野) 故 東條イトエ
中原 アキ(時吉) 故 中原 光明
今東 フサ(求名) 故 今東 重雄
迫 クニ(虎居) 故 迫 一夫
鳥居 友枝(宮城屋地) 故 鳥居 恵美
木ノ下サ子(平川) 故 木ノ下百合子
篠原 友道(鶴田) 故 篠原 純子
水流ワセ子(柏原) 故 水流 克男
東條 清志(薩川内市) 故 東條 和美
市来 史朗(船木) 故 市来 チツ
野元美佐子(鶴田) 故 野元 秀一
吉永 健治(湯田) 故 吉永 幸
山之口秀一(宮城屋地) 故 山之口一清
辻 美津代(虎居) 故 時吉 美俊
山下 フキ(神子) 故 山下 忍
春田 武門(中津川) 故 春田 二子
迫田マサ子(宮城屋地) 故 迫田 公秀
中山 信子(神子) 故 中山 了志
畑中 直美(久富木) 故 畑中 清隆

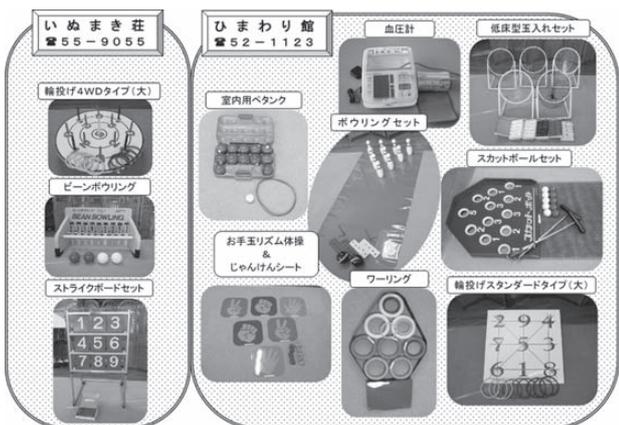
上村 春良(宮城屋地) 故 上村テル子
八田 健一(虎居) 故 八田 英子
宮後喜美男(求名) 故 宮後 虎市
下境田 忠(始良市) 故 下境田シマ
庵下紀代子(鶴田) 故 庵下 定男
下境田公治(求名) 故 下境田ユキエ
宮之脇タツエ(紫尾) 故 宮之脇睦男
財部 チミ(平川) 故 財部 重治
上之園イサエ(佐志) 故 上之園悦郎
中村美智男(虎居) 故 中村サダ子
後藤 純子(湯田) 故 後藤 静
柳野 信子(柏原) 故 柳野ハマエ
下境田美津代(求名) 故 下境田 稔
上村 桂子(久富木) 故 上村 正秀
羽有 郁夫(求名) 故 羽有 又男
小坂 光徳(永野) 故 小坂 貞子
野元 益美(求名) 故 野元 トミ
匿名希望 6件

篤志寄付

3件 3万円

寄付者名《敬称略》

- ・京友会
・宮後 喜美男
(物品寄付)
・日本特殊陶業
鹿兒島宮之城工場
(物品寄付)



無料でお貸しします【備品をご利用ください】

(車椅子・レクリエーション用具・高齢者疑似体験セット等)

さつま町社会福祉協議会では、さつま町内在住の方を対象に、車椅子や、レクリエーション用具の無料貸し出しをしております。ご利用希望の際は、お気軽に社会福祉協議会事務局にお問い合わせください。

電話 52-1123

©コロナウイルス感染予防の為に、借用時・返却時に各自消毒をお願いいたします。消毒液については、事務所に準備しておりますのでお声掛けください。

※新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により、生活資金でお悩みの皆さまへ

一時的な資金の緊急貸付に関するご案内

各都道府県社会福祉協議会では、低所得世帯等の方々に対して、生活費等の必要な資金の貸付を行う、生活福祉資金貸付制度を実施しています。

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を実施します。

特例貸付の具体的な内容のお問合せや貸付のご相談は、さつま町社会福祉協議会までご連絡ください。

さつま町社会福祉協議会（宮之城ひまわり館）電話：0996-52-1123

所在地：さつま町宮之城屋地2117-1

さつま町社会福祉協議会のホームページも、ぜひご覧ください。



さつま町社会福祉協議会
ホームページ
QRコード



↑ いぬまき園芸教室の皆さん、毎年、葉牡丹をありがとうございます。

【こころの元気カフェ】

※事前に予約が必要です。

電話…(代) 52-2443

相談員…かごしまメンタルパートナー

相談員

場所…宮之城ひまわり館 相談室

日時…毎月 第1木曜日

午後1時30分～3時30分

【心配ごと相談】

※予約は必要ありません。

相談員…さつまくらし・しごと

サポートセンター職員

場所…宮之城ひまわり館 相談室

日時…毎週 木曜日

午前10時～12時

【無料法律相談】

※事前に予約が必要です。

電話…(代) 52-1123

相談員…弁護士

場所…宮之城ひまわり館 相談室

日時…毎月 第3木曜日

午後1時30分～4時30分

※お気軽にご相談ください。

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。令和三年が皆様にとって、幸多い年になりますことをお祈り申し上げます。さて、寒さが厳しい折、どのような新年をお迎えでしょうか。

令和二年は新型コロナウイルス禍により、暮らしのようすががらりと様変わりしました。これまでの日常が非日常になり、人が集まる機会もかなり制限されている状況で、個人個人の繋がりをどのように維持していくかに、日々、思案をめぐらせている状況です。今後の社会情勢にますます注視していく必要があると考えます。

さて、広報誌第56号を発行いたしました。発行にご協力くださいました方々に感謝申し上げます。安心して暮らせる地域づくりの為に、生活に有用な情報も取り入れながら、より見やすい誌面づくりを心がけていきたいと考えています。地域福祉活動の推進の為に、今後とも、町民の皆様のご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。